

服用に際して、必ずこの添付文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

総合感冒薬

かぜの諸症状に

ハヤナ[®]糖衣錠DX (非ピリン系)



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないでください。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気があらわれることがあります。)
- 服用時は飲酒しないでください。
- 長期連用しないでください。



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 授乳中の人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状のある人
 - 次の診断を受けた人
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振	そ の 他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、じんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。
間質性肺炎	空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。（これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。）
ぜんそく	

裏面もお読みください。

- (2) 5～6回服用しても症状がよくならない場合
 3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。
 口のかわき

効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量

次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に水またはお湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
15才以上（成人）	3錠	3回
11才以上15才未満	2錠	
5才以上11才未満	1錠	
5才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- 定められた用法・用量を厳守してください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量 1日量(9錠)中

成分	含量	はたらき
アセトアミノフェン	900mg	熱を下げ、痛みを改善します。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	6.6mg	くしゃみ、鼻水、鼻づまりを抑えます。
クエン酸ナトリウム	45mg	せきを鎮め、たんを出しやすくします。
dL-メチルエフェドリン塩酸塩	45mg	せきを鎮め、たんを出しやすくします。
無水カフェイン	90mg	頭痛をやわらげます。
ベンフォチアミン(ビタミンB ₁)	24mg	発熱時に消耗しがちなビタミンB ₁ を補います。
リボフラビン(ビタミンB ₂)	12mg	発熱時に消耗しがちなビタミンB ₂ を補います。

添加剤：ヒドロキシプロピルセルロース、CMC-Ca、セルロース、乳糖水和物、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、ゼラチン、アラビアゴム、白糖、タルク、酸化チタン、カルナウバロウ 含有

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤の服用により尿が黄色くなることがありますが、これは本剤中のリボフラビンによるものなので心配はいりません。

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。
 (誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

〈錠剤の取り出し方〉

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

(PTPシートの取り出し図)



お問い合わせ先 株式会社 富士薬品（学術室）
 電話（048）648-1118 9：00～17：30（土、日、祝日を除く）

製造販売元 **株式会社 富士薬品**
 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地